

富山市教育委員会 1 月定例会 資料

別 紙

ガラスの街とやま連携展

Toyama Glass

バイ

高橋禎彦、安田泰三、松藤孝一

2023.2.11 sat - 2.19 sun

会場：富山市ガラス美術館 2階展示室1

開場時間：9:30-18:00

観覧料：無料

主催：富山市、富山市ガラス美術館、富山ガラス造形研究所、
(一財)富山市ガラス工芸センター(富山ガラス工房)

後援：北日本新聞社、富山新聞社、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ

同時開催：富山ガラス造形研究所卒業制作展2023
(3階展示室3、5階ギャラリー1・2)

[交通アクセス]

富山駅より徒歩20分

市内電車(南富山駅前行き)「西町」下車徒歩1分

市内電車環状線「グランドプラザ前」下車徒歩2分

富山空港より地鉄バス富山駅行き直行36系統「総曲輪」下車徒歩4分

TOYAMA 富山市
キラリ ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

Toyama Glass



2023.2.11 sat - 2.19 sun

ごあいさつ

富山市は、これまで30年以上にわたり、ガラスをテーマとした政策をまちづくりの柱の一つに掲げてまいりました。ガラス作家を育成する「富山ガラス造形研究所」、文化的産業としてガラスを振興する「富山ガラス工房」、そして芸術としてのガラスを鑑賞し親しむことのできる「富山市ガラス美術館」—この3つの柱を拠点に、富山市は「ガラスの街づくり」を推進する世界でも有数の街となっています。

その一つである富山ガラス工房は、長谷川窯業研究所の協力により、2001年に県内の朝日町で採れる翡翠の廃石を有効活用し、淡く柔和な白緑色ガラスを開発、「越翡翠」と命名しました。その後は富山大学との共同研究によって、2006年に富山湾の深い青緑色をイメージした「越碧」を開発し、2018年には越翡翠に紫苑・青磁の2色を加えました。さらには、2020年に大地に輝く稲穂を想わせる「越琥珀」を創生し、この全5色を「富山曼茶羅彩」と名付け、衣食住にまつわるうつわやアクセサリー製品を展開しています。

今回、私たちは「富山曼茶羅彩」の中から、「越翡翠」(白緑)、「越碧」、「越琥珀」の3色を選び、現在日本のガラスアート界を牽引する3名の作家に、自由な制作を依頼しました。富山の風土を象徴する色ガラスが、今をときめく作家の手に委ねられ、掛け合わされたとき、どんな表情をもって、またどのような姿で立ち現れてくれるのでしょうか。その新たな発見の結晶をお楽しみください。

2023年2月
主催者

高橋 禎彦

1958年東京都生まれ。80年多摩美術大学美術学部デザイン学科立体デザイン専攻プロダクトデザイン専修クラフトデザインコース卒業。82-84年グラスハウスアムヴァサートゥルム工房アシスタント。85年相模原市に工房を開設。12-22年多摩美術大学教授。吹きガラス、ホットワークを中心に、素材との綿密な対話を積み重ね、「ガラスが嬉しい」伸びやかな造形を展開。うつわとオブジェの領域もするりと超え、今やガラス作りは高橋の身体の一部ともいえる。21年、富山市ガラス美術館にて「高橋禎彦 playtime」展開催。



安田 泰三

1972年兵庫県生まれ。93年富山ガラス造形研究所造形科卒業。94年研究科修了。94-97年富山ガラス工房勤務。97年に富山ガラス個人工房群にTaizo Glass Studioを設立。2005年に富山市東若潮の森家土蔵群の一角を改修し移転。精緻なレース文様が紡ぎ出す潇洒なうつわ、幾重にもなるガラスの層が織りなす色彩のコントラスト、ガラス装飾を閉じ込めた艶やかな小宇宙・・・、安田が展開する繊細なガラスの世界は、そのひたむきさと、緻密に重ねられた工程に裏付けされる。「食」の世界からの求めも多く、高級料理店からうつわの依頼も絶えない。富山ガラス造形研究所第一期生。



松藤 孝一

1973年長崎県生まれ。95年愛知教育大学卒業後、財団法人ポーラ美術振興財団の在外研究助成により渡米。01年イリノイ州立大学美術学部修士課程を修了。07年エペルトフト・ガラス美術館(デンマーク)ヤング・ガラス展ホルメカード賞、21年富山ガラス大賞展2021にて銀賞受賞。16年から富山ガラス造形研究所に赴任、現在准教授。吹きガラスやキルンワークの双方を用いて、立体造形から空間的なインスタレーション作品まで幅広く手掛ける。透明で光を内包する神秘的なガラスに魅かれた松藤は、敬うべき自然やそこに生きるものの命の尊さを察じ、見守り、その想いを作品に託している。



関連イベント

富山曼茶羅彩
ガラス万華鏡
制作ワークショップ

ガラスの粒を使って、自分だけの万華鏡を作ってみませんか？ 今回のワークショップでは、通常の制作体験で使用する色とりどりのガラスパーツに加えて、富山ガラス工房が開発した美しい5色の色ガラス「富山曼茶羅彩」の粒もご用意いたします。富山でしか作れない色鮮やかな万華鏡づくりをお楽しみください。

日時/2023年2月18日(土) 10:30-11:30(受付開始10:15)
会場/富山市ガラス美術館6階 レクチャールーム
対象/一般の方(小学生以上)
定員/20名(コロナ禍に付き、お子様一人に大人一人の付き添いまで)
参加費/1,900円(税込)(お支払いは当日に会場で現金のみ)
お申込/完全事前予約制(2/5~電話にて予約受付開始/先着順)
ご予約・お問合せ/富山ガラス工房 第2工房
☎076-436-3322(9:00-17:00)

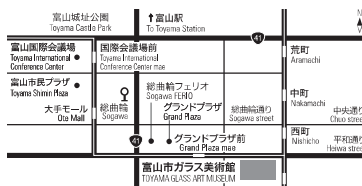
同時開催

富山ガラス造形研究所卒業制作展 2023

2023.2/11(土・祝)ー2/19(日) 9:30-18:00
富山市ガラス美術館 3F 展示室 / 5F ギャラリー1・2

TOYAMA 富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

〒930-0062 富山県富山市西町5番1号 Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310
toyama-glass-art-museum.jp



交通アクセス

- 【富山駅より】
○徒歩20分
○市内電車(南富山駅前行き)「西町」下車
徒歩1分
○市内電車環状線「グランドプラザ前」下車
徒歩2分
【富山空港より】
○地鉄バス富山駅行き直行36系統「総曲川」下車
徒歩4分

その他 2

不思議でリアルな世界

今井瑠衣子
植村宏木
木下結衣
小林千紗
高橋まき子
竹岡健輔
津守秀憲

アナザーワールド：不思議でリアルな世界

Other Worlds : Realms of Wonder and Reality

2023 3.4^{SAT} — 6.18^{SUN} | 富山市ガラス美術館 |
2・3階 展示室1-3

開場時間：午前9時30分から午後6時まで（金・土曜日は午後8時まで、入場は閉場の30分前まで）

閉場日：第1・3水曜日（ただし5/3（水）は開場、5/10（水）は閉場）

観覧料：一般1,000円（800円）、大学生800円（600円）

（ ）内は20名以上の団体料金 高校生以下無料 本展観覧券で常設展もご覧いただけます。

前売券取扱い 一般800円のみ（アスネットカウンター Tel.076-445-5511、TOYAMAキラリ1階総合案内）

主催：富山市ガラス美術館

後援：北日本新聞社、富山新聞社、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ

TOYAMA 富山市
キラリ ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

アナザーワールド

不思議でリアルな世界

もうひとつの世界・アナザーワールドは、時を超えて多くの人々を魅了し続けるテーマです。人は潜在的に、普段の生活では味わうことのできないものに思いを馳せ、想像を掻き立てられます。その「普通ではない」何か、目には見えない何かへの憧れや好奇心は、さまざまな世界を創り出し、見る者の胸を躍らせて来ました。

私たちの生きる今現在、未知のウイルスの脅威や、社会、経済の大きな変動によって、重い抑圧や閉塞感が生まれています。そうした状況では、日常的に意識しているものだけでなく、認識の外にあったものを見つめ、向き合うための想像力と柔軟さが、先の見えない不安を乗り越えていくための大きな力となります。

本展覧会は、まさに現在(いま)を生きる7名の作家によるガラス作品約70件を、「アナザーワールド」としてご紹介するものです。見えるものと見えないもの、見慣れたものと見慣れないもの、内側と外側、夢と覚醒。本展作品に見るこうした相反する要素は、ガラスという、二面性をもつ素材だからこそ表現できるものではないでしょうか。これらの作品は、私たちのいる世界のもうひとつの姿を見せてくれるでしょう。現実と地続きにある「不思議でリアルな世界」との出会いを、どうぞお楽しみください。



関連プログラム

アーティストトーク

- 日時: 3月4日(土) 10:30~
- 会場: 富山市ガラス美術館
- 参加無料

学芸員による見どころトーク

- 日時: 3月26日(日)、4月16日(日)、4月30日(日)、5月7日(日)、6月3日(土)、6月17日(土)
- 各回 14:00 ~
- 事前申込み不要、参加無料

おとなの美術部

ガラスビーズでアクセサリー制作

- 日時: 5月21日(日) 13:30~(3時間程度)
- 講師: 木下結衣(出品作家)
- 対象: 18歳以上
- 事前申込み制、応募者多数の場合は抽選

※展示室への入場には、本展観覧券が必要です。
※関連プログラムの詳細は美術館公式ウェブサイトやSNSなどでお知らせします。
※プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。最新の情報は美術館公式ウェブサイトをご確認ください。

1. 今井瑠衣子《reminiscence》(部分)2016年-、作家蔵、撮影: 岡村喜知郎
2. 樺村宏木《呼吸を辿る》(部分)2021年、作家蔵
3. 木下結衣《蘇生》(部分)2020年、樂翠亭美術館蔵、撮影: 林周悟
4. 小林千紗《しろのくろのかたち 2021-1》(部分)2021年、富山市ガラス美術館蔵、撮影: 末正真礼生
5. 高橋まき子《気配の共有》(部分)2020年、作家蔵
6. 竹岡健輔《線跡'21》(部分)2021年、富山市ガラス美術館蔵、撮影: 末正真礼生
7. 津守秀憲《胎動'17-4》(部分)2017年、富山市ガラス美術館蔵、撮影: 末正真礼生

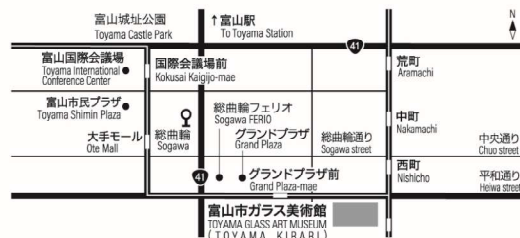
交通アクセス

富山駅より

- 徒歩20分
- 市内電車南富山駅前行きに乗り、「西町」下車、徒歩1分
- 市内電車環状線に乗り、「グランドプラザ前」下車、徒歩2分(富山駅から「西町」「グランドプラザ前」まで約10分)

富山空港より

- 地鉄バス富山駅行き(直行/36系統)に乗り、「総曲輪」下車、徒歩4分



TOYAMA 富山市
ガラス美術館
TOYAMA GLASS ART MUSEUM

〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
Tel. 076-461-3100 Fax. 076-461-3310
toyama-glass-art-museum.jp

